

第1回 医薬品関連ものづくりセミナー

富山県新世紀産業機構では「医薬品関連ものづくり研究会」の活動を通じて、産学官連携による県内ものづくり企業の医薬品容器・包装分野等における製品開発を支援しております。このたび、当研究会活動の一環として、医薬品関連ものづくりセミナーを開催いたします。ご多用中のこととは存じますが、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。

平成30年 **11月5日（月）** 13:30～16:00

【会場】富山県民会館702号室（富山市新総曲輪4番18号）

【定員】30名（定員になり次第、締め切らせていただきます）

【受講料】無料

【締切】平成30年11月1日（木）

【プログラム】

13:30～13:40 開会挨拶

13:40～14:40

「 Medikation Error 回避に必要な医薬品の包装形態とは何か？ 」

東京薬科大学 薬学部 教授 下枝 貞彦 先生

医療現場での医薬品採用基準は、より安価で Medikation Error を誘発しにくい製品に重きを置く傾向が鮮明になっている。そこで本講演では、現在、医療現場で使用されている医薬品包装のデザイン、形態、使用感に関する医療従事者・患者からの評価を交え、当該包装の何が現場で問題なのかを具体的に提示する。同時に、医療現場で評価される医薬品包装や、今後、医療現場で必要とされる医薬品包装のヒントについても提示したい。

14:40～14:50 質疑応答

14:50～15:00 名刺交換

15:00～ 個別相談（富山県民会館703号室）

※セミナー終了後に希望者を対象に「個別相談」の機会を設けます。講師・コーディネータ等とともに、各種相談や質問事項にお答えします。
【詳細は事務局までお尋ねください。】



講師略歴：

長野赤十字病院薬剤部に入部し、調剤係長や麻薬係長を歴任。その後、新潟薬科大学薬学部臨床薬学研究室講師、東京薬科大学薬学部臨床薬剤学教室准教授を経て、現在、同教授。

薬学博士（血液内科領域における医薬品の適正使用に関する研究）

日本医療薬学会指導薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師、日本医療薬学会がん指導・認定薬剤師、日本病院薬剤師会がん専門薬剤師に認定される。

また、これまでに民間のセミナー企画会社が実施する医薬品包装に関するセミナーの講師としてもご活躍される。

【お申込み・お問い合わせ先】

主催 公益財団法人富山県新世紀産業機構 医薬品関連ものづくり研究会（担当:高橋）

〒930-0866 富山市高田529番地 e-mail : t.takahashi@tonio.or.jp

TEL 076-444-5636 FAX 076-433-4207